

第1回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事概要

日 時 平成28年12月16日（金）13時30分～15時00分
場 所 東京都庁第一本庁舎 16階南側 特別会議室S6
出席委員 大崎委員、大槻委員、根本委員、幸村委員

1 開会

2 委員紹介

3 会計管理局長挨拶

4 第1回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決め

- ・ 個々の金融機関等の個別情報などを取り扱うことから、金融機関等の正常な経済活動が阻害されるおそれや、予期せぬ風評や影響を誘発する可能性があるためと認められるため、委員の意見を聞いたうえで、本日の議事は非公開とすることを決定。

5 議事

- ・ 事務局より以下の項目について説明後、出席委員による意見交換
- (1) 預金先金融機関の経営評価基準等の見直しについて
- ・ 日銀のマイナス金利政策等、昨今の金融情勢の変化に柔軟に対応するため、経営評価基準の見直しや日常監視の強化等は必要との意見を受けた。
- (2) 邦銀の中間決算を踏まえた預金についての対応
【平成29年3月期 第2四半期（中間期）】
- ・ 預金先金融機関（邦銀）の経営状況について、中間決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（邦銀）の評価等を報告した。
- (3) 外国銀行の中間決算等を踏まえた預金についての対応
【平成28年12月期 第2四半期（中間期）ほか】
- ・ 預金先金融機関（外銀）の経営状況について、中間決算等を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（外銀）の評価等を報告した。
- (4) 債券運用対象発行体の拡充について
- ・ 国債及び政府保証債は、マイナス利回りで推移しており、地方債、財投機関債及び金融債については、投資家の購入ニーズが高く、まとまった購入が難しいため、運用先の分散や新規開拓の観点からも、債券の運用対象発行体の拡充は必要との意見を受けた。

6 閉会

以 上